

ICAが懇親パーティを開催

去る11月30日、東京・銀座東武ホテルにおいて、ICA（国際銅協会）主催の懇親パーティが開催された。

ICAおよび日本銅センターの役員や加盟企業、所管する経済産業省の課長など40人が出席、懇親を深めた。

ICAのジョン・ホランド会長は、日本の“忘年会”をひき合いに、「時節柄、われわれも、友情を温めるいい機会だ」とあいさつし、出席者に感謝の意を表した。

続いて日本銅センター日高俊信専務理事から、ICAとの共同プロジェクトの紹介。山田政雄会長の音頭により、乾杯。プレゼントの交換などをはさみ、パーティはなごやかな笑顔につつまれ、続いていった。



TOPICS 3

「新しい院内感染対策に繋がる銅の活用セミナー」開催

去る11月22日、東京・全社連研修センターにおいて、「新しい院内感染症対策に繋がる銅の活用セミナー」が開催された。

主催は、NPO法人日本医療流通改善研究会で、日本銅センター、日本看護協会などが後援した。

銅の殺菌効果が注目され、医療分野での採用が徐々に進んでいる。このセミナーでは、導入事例の紹介をはじめ、データを混じえて殺菌効果がプレゼンテーションされた。

第一部では、銅の殺菌効果に関する研究に長年取組んでいる北里大学医学部 笹原武志講師が「感染予防につながる環境微生物コントロール」の演題で講演。

第二部では、日本赤十字豊田看護大学の東野督子准教授が「医療環境に生存するMRSAの対策」についてレクチャー。



千代反田氏



東野氏



笹原氏

第三部では、銅素材を院内に多用した宮崎県の千代田病院 千代反田晋理理事長が「院内感染予防の新しい取り組み」について紹介。同病院では、銅のドアハンドルなどの建材の導入。スタッフへの説明や殺菌の実証実験を約2年間行い、その結果を日本環境感染学会において発表している。

100名を越す参加者からは、院内感染に大きな効果を上げる銅の殺菌効果に期待の声寄せられていた。



2013年ICAプロジェクトの概要

社団法人日本銅センターは公益法人制度改正に伴い、2013年4月から一般社団法人日本銅センターに移行しますが、従来からの活動内容に大きな変化はなく、2013年度もICAから約60万ドルのファンドを受けて下記の7つのプロジェクトを行う計画です。

◆銅と健康:抗菌・殺菌

複数の病院建設計画に参画し、より多くの銅製品が導入されるよう働きかけています。

◆Copper Motor Rotor (CMR) の市場化推進

ユーザーサイドでのCMRの試作品評価が開始され、結果のフォローと量産体制の整備を図ります。

◆高効率エネルギー機器の普及促進

トップランナー制度の関連業界と連携し、目標基準値見直しを進め、銅消費の増大を図っていきます。

◆導体サイズの適正化

導体サイズ適正化に関する国際標準化が承認され、これを受けて現場サイドでの普及・対応策を検討します。

◆建築用制振ダンパーの開発

現在、最終寸法まで加工した試作品の評価を実施し、量産化できる体制を整備する計画です。

◆OEMプロジェクト

最新の銅合金データを整備し、需要業界の設計・開発部門に銅合金の採用を働きかけていきます。

◆コミュニケーション(広報)

機関誌やWebマガジンに加えて、Facebook、YouTubeなどコンテンツを積極活用していきます。

トピックス TOPICS

TOPICS 1

クロム銅製イヤホンが奏でる究極の音色

昨年筐体をクロム銅の削り出して作ったイヤホンが家電量販店を通じて発売された。このイヤホンが奏でる音色は、まるで生演奏を聞いているかのように秀逸で美しい。定価は22万円と驚くほど高価だが、品切れするほどの売れ行きになっている。クロム銅は他の銅合金に比べ硬く、繊細な音まで忠実に再現してくれる。ステンレスと黄銅製のイヤホンも同時に発売されたが、素材によって音が変わるから驚きだ。

<Piano ForteX> ●販売元/ファイナルオーディオデザイン
<http://final-audio-design.com/>



クロム銅製イヤホン

TOPICS 2

NHK朝の連ドラ・梅ちゃん先生で大活躍!
「黄銅製給水バルブ」

2012年上半年に放送され、好評を博したNHK朝の連続テレビ小説「梅ちゃん先生」。終戦直後の東京・蒲田を舞台としている。この中で黄銅製の配管用給水バルブが重要な小道具として使われた。主人公家族の金属加工工場で使用するため依頼製造されたもので、当時のバルブの再現が求められた。昭和30年当時の図面を元に忠実に再現されたこのバルブは、現代の物よりとても分厚く、重い。

●製造元/玉本バルブ(株)



編集後記

この欄の上で取り上げたクロム銅製のイヤホンの取材が終わった足で、有楽町のビックカメラの売場に寄ったのですが、本当に在庫切れでした。ステンレスと黄銅製のものが残っていたので、マニア向けの商品は高いものから売れるというのは本当ですね。さて、本号です。進化する金属素材リサイクルチェーンの要となる小坂製錬(株)を取材させていただきました。お世話になった

DOWA ホールディングス(株)と小坂製錬(株)の関係者にお礼申し上げます。また、歴史の話題に関して「銅」誌では、富本銭や大仏など奈良時代までは記事にしていました。今後は古代史・考古学の範囲まで踏み込もうと思いい、この号では「卑弥呼がいた時代」にフォーカスした歴史物語をまとめてみました。

編集デスク 竹中 俊一(日本銅センター)

情報発信委員会

〈委員長〉堀田修司((株)神戸製鋼所)
〈委員〉鉱山/塚本弘之(三菱マテリアル(株))、鏡原俊一(バンバンフィック・カップパー(株))、永田禎彦(日本鉱業協会)
伸銅/松本光弘(古河電気工業(株))谷敬三((一社)日本伸銅協会)
電線/野田哲也((株)フジクラ)、大木啓一((一社)日本電線工業会)
((社)日本銅センター)和田正彦、幸洋二